



クローズアップ
第12回
～今を生きる 人々が宝～

和寒町

パークゴルフ愛好会 会長 本間 恒雄(ほんま つねお)さん

が、本間恒雄さんである。

パークゴルフ愛好会の活動

のパークゴルフの普及発展に大きく貢献している。

和寒町でパークゴルフ愛好会が設立されたのは、平成8年頃。平成18年には10周年の記念大会を行い、今年で13年目を迎える。会員数も70名と大変人気のあるスポーツで、最高齢では86歳の方もパークゴルフを楽しんでいる。

そんな和寒町パークゴルフ愛好会の会長を務めているのが、本間恒雄さんである。パークゴルフ愛好会の活動は、コースのオープンとともに月例会が5月から10月で6回行われるほか、町長杯、どんとこい！わっさむ夏まつり、交通安全大会などの大会も含めると、町内だけでも年間20回を越える。そのほとんどはパークゴルフ愛好会が中心となって運営し、和寒町で

も含めると、町内だけでも年間20回を越える。そのほとんどはパークゴルフ愛好会が中心となって運営し、和寒町で

ミニティースポーツとして、8月9日をパークの日と位置付け、第1回和寒町パークゴルフ選手権大会を企画。この大会の特徴は、一般参加のほか、小学生5～6年生を対象に、パークゴルフ愛好会の会員の皆さんのが指導を行い、幅広い世代との交流を通じて豊かな自然の中で、四季の変化を楽しみながら心身の健康増進を図ろうとするもの。多くの町民の皆さんに参加してほしいと呼びかけています。

パークゴルフの魅力

本間さんはパークゴルフの魅力について「自分自身の健康管理に一番のスポーツ。地域住民との交流と親睦が深まり、また町外との交流の輪も

広がることが大きな魅力」だという。また「楽しくプレーするためにも健康管理には十分注意し、マナーとルールをしっかりと守り楽しくプレーしてほしい」と呼びかけています。

本間さんは、一度練習に出かけると、最低でも36ホールはこなすという。休みながらではあるが2～3時間は練習を行う。

平成18年9月の交通安全大会では、総合運動公園コースにおいて46点というコースレコードも記録した。この記録は現在でもまだ更新されていない。

将来の目標

本間さんは「パークゴルフは子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツ。多くの人の幅広い交流を通じて、健康増進に努めるとともに、明るく楽しい地域社会に貢献していきたい」と目標を語つてくれました。



本間 恒雄さん[和寒町パークゴルフ愛好会会長] 76歳
和寒町字西町 TEL0165-32-3368 出身：山形県東田川郡押切村
経歴：1947年 和寒小学校卒業 1949年 和寒中学校卒業
1954年 和寒高等学校卒業 1949年 和寒郵便局
1998年 郵便局退職後 和寒町代表監査委員など
趣味：スポーツ全般